

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102063
法人名	株式会社 まごころ福祉
事業所名	まごころ
所在地	奈良市朱雀6丁目6-8 (電話) 0742-71-2939
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 20年 3月 19日

【情報提供票より】(20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1 日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	6 人
職員数	8 人
	常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算 5.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,700 円	その他の経費(月額)	36,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	200,000 円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	800 円	おやつ	200 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 89.3 歳	最低	83 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	まえた医院・高の原中央病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、落ち着いた環境の住宅地域の中に既存住宅を改装して開所されました。玄関前には梅・槿・さざんか等の植栽があり、安らぎが感じられます。事業所内は、共用空間・居室にゆとりある広さが確保されており、利用者は自分のペースで穏やかに生活されています。職員は、利用者本位の運営理念を良く理解し実践されています。また、地域との交流にも積極的に取り組みされ、その広がりが見られます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ホームと地域との関りを重視し、毎月地域交流会を開き、認知症の人やホームに対する理解・協力が広がります。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスを自己評価する意義・目的を正しく認識され、全職員が参画し課題や問題点の把握と改善への契機と位置付け取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の設置目的や役割等について正しく認識されていますが、開催回数も少なく十分機能するところまで至っていない様に感じられます。この組織の活用について工夫される事を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	年4回開催される家族会や家族の訪問時に、意見・要望等を積極的に聞きだし、職員会議で内容を検証し、サービスに活かす取り組みがなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所も地域社会の一員と認識され、自治会への加入はもとより、地域の社会活動(清掃等)に参加される他、毎月地域交流会を開催し地域との関りを大切にされています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者サービスの基本を、家庭的な環境と地域との結びつきを重視した方針を明らかにされ、また、尊厳ある自立した生活の確保のために、本人の生活層も大切にしたい支援への理念が作られています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例会議等で話がなされ、理念の共有化に努められるいるほか、スタッフ室やリビングに優しい表現による理念の掲出があり、実践に活かされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所も地域社会の一員と強く自覚され、自治会への加入はもとより、清掃活動への参加や毎月1回地域交流会を開催され、地域住民との交流が図られています。		地域社会との交流に広がりが見られますが、毎月開催されている地域交流会への住民の参加が少ないようです。このような企画は、ホームと認知症に対する一層の理解促進に繋がりますので、より多くの参加が得られる様に工夫される事を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に当たっては、全ての職員が参画され課題や問題点の把握する機会と捉えて実施されています。また、外部評価結果については、会議等で全員に周知され、サービスに活かす取り組みがなされています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議設置の趣旨・目的を理解され、行政職員はもとより、地区の老人クラブや民生委員代表等幅広いメンバーに委嘱され開催されています。		開催回数が少ない事から、十分機能するところまで至っていませんが、会議の設置目的等について十分認識されていますので、これから期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型とされて以来、行政との関りを大切にされ、運営上の課題・サービスのあり方の相談と共に、情報収集等その連携に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、本人の生活の様子が分かるようなデータを中心に報告がなされています。また、家族の訪問時にも直近の様子を伝える事とされています。なお、健康状態に変化が見られる時は、随時に報告・相談する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時や年4回開催されている家族会等で利用者の様子を報告し、意見・要望等を聞きだし職員会議に諮りサービスに活かす取り組みがなされています。また、毎月の家族への報告にあたり、利用者支援への意見等を聞く用紙を同封される取り組みもなされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の安心・安定した生活を確保するためには、職員との信頼や馴染みの関係の構築は大切と認識され、職員異動には極力配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な内部研修の実施や外部研修への参加により、職員資質の向上とサービスの質の向上に努められています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との相互訪問・交流機会を確保され、サービスの質の向上に活かす取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用にあたり、本人の希望・要望等を十分把握され、家族と相談のうえ、必要な場合は体験利用も取り入れる等、本人が納得されての利用になるよう工夫されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護者・被介護者との立場ではなく、一緒に考え、共に楽しむ事を常に心がけ実践に活かす取り組みがなされています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフは、「利用者の生活リズム・考え・特技等の優先」を基本とする理念を大切に、把握されている情報を活用され暮らしに活かす取り組みがなされています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、その人らしく生活を続けるために作成されるものであるとの認識のもと、全職員が関り、話し合いました、家族の意見を参考に調整されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月開催される職員会議で、本人の状態や記録データを基に、随時に見直しする事とされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、通院・美容院・買い物等の支援を柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回の協力医の往診がなされていますが、本人や家族の希望に応じてかかりつけ医の受診についても十分配慮がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期への対応についての説明を利用時に説明され、承諾を得られています。家族等の期待に応えるための緊要の課題と認識されています。		代表者は、終末期への対応に強い関心を持っておられますが、克服すべき課題が多く事業所として明確な方針を確立するところまで至っていません。家族や本人にとって重要な問題であることから、これが実現への取り組みを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳の保持も支援上の大きな柱であり、暮らしの中での言動等に注意し、職員会議においても話し合いが行われています。個人情報の管理についても常に留意されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定がありますが、掌握されているデータ等を参考に本人の意向やペースを尊重した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	夕食のメイン食材は外注されていますが、朝・昼の食事に当たっては、一人ひとりの好みも献立に反映させる取り組みがなされ、調理や盛り付け・配・下膳等に協働され、食事が楽しく進むような雰囲気作りに努められています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、週3回の入浴日の設定がなされていますが、毎日や夜間の入浴を希望される方にも対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の暮らしに充実感や喜びを味わって貰う事に配慮され、本人の経験や特技等を生かせる場面作り工夫されています。また、本人の体調や思いを大切にされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出により受ける刺激の効果をよく理解され、周辺の散歩と共にドライブや買い物等本人の意向に配慮しつつ外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を認識され、十分な見守りにより安全確保がなされ、玄関はいつも開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防火・消火訓練を実施されており、また、地域にも火災時への協力について話されています。		火災時には、利用者を迅速・安全に屋外に誘導する事が求められることから、被災時の地域住民の応援・協力が不可欠であります。この事を念頭に応援・協力体制の整備に努められることが望まれます。また、震災に備え緊急物品の備蓄についても検討を進められる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取や水分補給については、詳細に記録され適切な支援に努められています。		一人ひとりの記録の整備がなされていますが、本人の好みや摂取の仕方の違いから職員に戸惑いが見られる様に感じられますので、健康面への配慮に一工夫される事を期待します。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や外気温を基に、外気や光をホーム内に取り入れるよう常に留意され、穏やかに過ごせる共用空間の確保に努められています。また、利用者の作品を適当に掲出し潤いある空間となっています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れた家具・調度品や馴染みの品が持ち込まれ、安心して過ごせる居室整備に努められています。		